



雨でも大盛況！カーフリーデーふくい2010 in 田原町 20100923



来年もぜひ田原町で！

● 写真／畑みゆき
● 関連記事／2～3ページ

☆☆活動報告☆☆

9月23日

カーフリーデーふくい2010 in 田原町開催

10月4日 えちぜん鉄道活性化連携協議会

9～10日 全国まちづくり会議（熊本市）

14日 ミーティングテーブル・プレゼン（福井市）

17日 ふくぶせんフェスタ（北府駅）

地域バス調査、ROBA 例会

30(土)～31日(金) 全国バスマップサミット（東京）

11月1日（月）

地域公共交通コーディネーター会議（名古屋市）

11月3日（水）

福井・環境ミーティング（福井県職員会館）

13日（土）中部地区路面電車サミット（豊橋市）

21日（日）地域バス調査（三国）、ROBA 例会

27（土）～28日（日）

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会（岡山市）

28日（日）福井市消費者まつり（フェニックスプラザ）

11月未定 第2回えちぜん鉄道活性化連携協議会

☆☆今後の予定☆☆

10月29日（金）

「市民が考える公共交通」鯖江・市民ホールつつじ

ゆうじんの部屋 書籍紹介

買物難民 副題：もうひとつの高齢者問題

杉田聡 大月書店 1600円＋税

最近交通まちづくりの世界で流行語となった「買物難民」という言葉であるが、私のかねてからの愛読著者の杉田さんがこの題名の本を出していたのを知らないのはうかつであった。高齢者を中心とした「買物難民」の実態、移動販売車等の解決事例、社会的費用を支払っていない自動車と郊外店舗を問題視する持論が述べられている。行き過ぎたクルマ社会の問題点のひとつを勉強するため、是非お読みいただきたい本であるが、社会的費用に対して経済的手段より規制的手段で解決を図ろうとする著者の論調にはやや違和感を感じる。

商業施設が集積した地域では、それに対応した社会資本整備のために固定資産税を取るように、買物難民の集中する店舗不足の地区には、地域の人々が金を出し合って、土地、建物まで提供してコンビニを誘致することが必要かもしれない。東京23区内でも、私が前に住んでいた1種住専が広がる地区では案外買物が不便で、近くに野菜を売っているコンビニ（元八百屋らしい）があり、繁盛していた。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

カーフリーデーふくい2010 in 田原町 9月23日(木・祝)開催

「クルマを置いてホジロバ交通で田原町に出かけよう！」
バス、電車、サイクルトレインで、近くの人は、歩いて、自転車で

4回目となるカーフリーデーふくいは、会場を福井市北部の田原町地区に移して開催した。

今年のカーフリーデーふくいの特色は、公共交通の要衝にありながら有効活用されていない地区で、公共交通を使いやすくする仕掛けと、公共交通で街に出かけたくなる仕掛けを行い、カーフリー空間の体験をしてもらい、クルマに頼り過ぎた生活を見直すきっかけとしてもらうことであった。

モビリティウィーク(9月16日-23日)は、「たわら屋」でパネル展を開催し、地域の人にモビリティウィーク&カーフリーデーのPRと、カーフリーデーふくいへの参加呼び掛けを行った。



「たわら屋でのモビリティウィーク&カーフリーデーパネル展の様子」



「カーフリーデーには、雨でもたくさんの方が集まってくれました」



「自転車をこぐと発電してミニ電車が動きます。お父さんががんばれ！」

カーフリーデー当日は終日80%の降雨予想でしたが、前日の今年2度目の「竜巻警報」まで出て大雨をもたらした秋雨前線もなんとか無事通過し、早朝には雨が上がり張り切って準備に取り掛かれました。しかし、準備中から再び雨が降り出し、メインイベントである「まちなか川下り」「ツリーハウス」は、安全を優先してやむなく中止せざるを得ませんでした。午前中は雨の中で実施しましたがそれでも、たくさんの方が傘をさしてやってきてくれました。

「クルマを置いて田原町で遊ぼう！」遊びのメニュー

1. まちなか川下り(雨天中止)
2. ツリーハウスと雑楽展(雨天中止)
3. エコエネルギーを体験しよう
4. 自転車発電式ミニ電車に乗ろう

メインの川下り、ツリーハウスが雨で危険なため、中止になってみんな残念がっていましたが、代わって主役に躍り出たのが、このミニ電車。お父さんがこぎ役(発電役)で、お母さんや子供たちが運転手やお客の乗り手。この時ぞとばかりに張り切るお父さんだが、バッテリーのパワーと一緒に、お父さんの株もうなぎ上り。夜のビールは、さぞうまかったでしょう。カーフリーデーは、まちづくりだけでなく、家族の絆を高めることにも貢献できたようです。

5. いろいろな乗り物に乗ってみよう

やはり人気は、自転車タクシー。今年は、カーフリー空間を250mに延長したため、皆さんたっぷりと、運転や乗車を楽しめたようです。でも、驚いたのが請求書を見たときでした。運搬料だけでいいですよといわれて安心していたらなんと、5万円！ さらに消費税もプラス。ぎょえー！

6. 美術館をのぞいてみよう カーフリーデーに県立美術館が協賛してくれました。田原町に協賛だろうね、本当は。

7. バスの乗り方教室 今年は、運転席に座ったり、エンジンを駆かせさせてくれたり、大サービスで子供も大喜び。

8. まちあるきフォトオリエンテーリング

田原町を見直してもらおうと、商店街の人たちに紹介してもらって、まちあるきを企画したものの、あまり良いところはないよとの返事。しかたなく、よそ者の目で現地踏査をしていっぱい探し出しました。そのうち15カ所を巡ってもらうことにしましたが、運営が簡単になるよう、写真を撮ってきてもらって、それをチェックする方法でやってみました。田原町を再発見してもらえたようです。

9. サイクルトレイン自転車フォトラリー

10. バス電車フォトラリー

11. たわら屋マーケット（クラフト、似顔絵）

12. オープンカフェ

雨のため、クラフトマーケット、似顔絵、オープンカフェは、たわら屋内へ移動して開催しました。

午後からは雨も上がり、スタッフ一同記念撮影して、後片付けして無事終了。

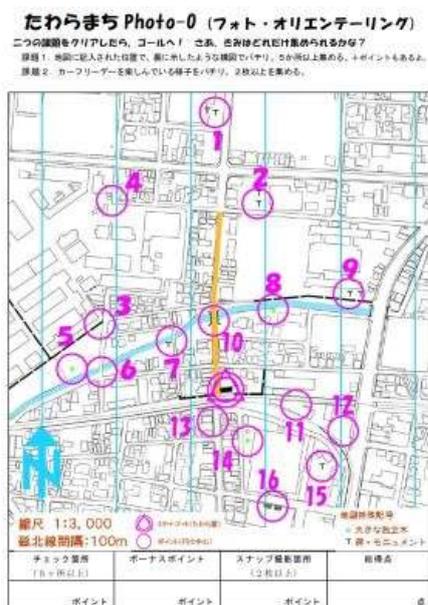
ここに映っていない午前中スタンバイしてくれた学生さんたち、スタッフの方、ありがとうございました。来年もまたやろう！？

ROBAのテーマとする「駅からのまちづくり」を実感できた、イベントでした。

（文責：カーフリーデーふくいローカルコーディネーター 林 博）



「カーフリー空間と、バスの乗り方教室、自転車タクシー」



「似顔絵コーナーも好評」



「午後からカフェは外へ移動」



今年も走ります「森田みらいバス」2010.1016~17

昨年のルートはJR森田駅に寄っていたのですが、乗車時間を短くし目的地（森田小学校）に早く到着するようにしました。（林照）



第41回

「森田地区文化祭」循環バス

【森田みらいバス】時刻表

無料

【耳寄り情報】

「森田みらいバス」に乗って、森田地区文化祭・仁短期に訪れた方には、飲み物をプレゼントします。
ご家族、ご近所、知人、友人にも、一声かけてカギかけてあいてください。

10月16日(土)~17日(日)

	バス停名	1使	2使	3使	4使	5使	6使	7使
東 ル ー ト	1 森田小学校	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30	16:30
	2 畑内科	32	32	32	32	32	32	32
	3 上野本町	34	34	34	34	34	34	34
	4 森田新保	36	36	36	36	36	36	36
	5 東部地	38	38	38	38	38	38	38
	6 東森郵便局	40	40	40	40	40	40	40
	7 上野本町新築会町民集会場	42	42	42	42	42	42	42
	8 上森田バス停	44	44	44	44	44	44	44
	9 くじら公園	45	45	45	45	45	45	45
	10 上森田3丁目	46	46	46	46	46	46	46
	11 森川医院	48	48	48	48	48	48	48
西 ル ー ト	1 森田小学校	9:50	10:50	11:50	13:50	14:50	15:50	16:50
	12 森川医院前	02	02	02	02	02	02	02
	13 鈴木歯科	03	03	03	03	03	03	03
	14 定正	06	06	06	06	06	06	06
	15 高柳眼科	08	08	08	08	08	08	08
	16 新鮮館つくしの店	09	09	09	09	09	09	09
	17 八千子化学	11	11	11	11	11	11	11
	18 仁愛女子短期大学 【16日(土)のみ仁短期】	13	13	13	13	13	13	13
	19 天池バス停	14	14	14	14	14	14	14
	20 八重葎中	15	15	15	15	15	15	15
	21 相模医院	16	16	16	16	16	16	16
	22 森田八重葎バス停	18	18	18	18	18	18	18
	23 森田駅前バス停	19	19	19	19	19	19	19
	24 森田公民館	20	20	20	20	20	20	20
1 森田小学校	10:22	11:22	12:22	14:22	15:22	16:22		

第1回えちぜん鉄道活性化連携協議会の報告

報告者：内田桂嗣（佳次）

◆開催日時：平成22年10月4日 14:30～15:30

◆協議会委員

福井大学教授 川上洋司、えちぜん鉄道サポート団体連絡会会長 和田高枝、ROBA 会長内田佳次、福井商工会議所会頭 川田達男、えちぜん鉄道社長 見奈美 徹、福井市長 東村新一、勝山市長 山岸正裕、あわら市長 橋本達也、坂井市長 坂本憲男、永平寺町長 松本文雄

◆専門委員

中部運輸局鉄道部長 大野義明、福井運輸支局長 辻 俊雄、福井県総合政策部長 森 近悦治

◆議事

1、規約の承認

会長を山岸勝山市長、副会長を東村福井市長、監事を和田、川田の両名を選出
座長は川上教授と決定した。

2、全体スケジュール

- ・第2回を22年11月頃、これまでの取組実績と経営状況の評価、論点ごとの具体的な検討
- ・第3回23年2月頃、会社組織のあり方、支援に対する役割分担の基本的な考え方
- ・第4回23年5月頃、連携計画骨子について
- ・第5回23年8月頃、「えちぜん鉄道連携計画」の策定

3、今後の論点

①利用促進を含めた今後の旅客収入の見通しについて

- ・社会情勢の変化を踏まえた利用者数
- ・適切な運賃体系
- ・企業による利用促進 など

②今後必要な投資額等についての経費の見通しについて

- ・想定される大規模設備投資
(安全対策、相互乗り入れ経費、車両購入費等)
- ・運行に要する経常経費(車両管理を含む) など

③会社に対する支援のあり方について

- ・会社と行政の役割分担 など

◆参加委員の意見

中部運輸局：手続きの支援をしていく

福井県：10年で70億負担、10年の総括が必要、市町の協力、サービスの新たな目標設定

運輸局：利用しやすい公共交通、公共交通のネットワークが必要

サポート団体：駅の近くに施設（行く場所、目的）があるとよい

東村市長：福井鉄道と連携、重要な都市基盤という位置づけ、鉄道からのまちづくりを考えている、路面軌道との接続、LRVの導入

橋本市長：市民、県民に理解してもらい、広い範囲の人たちに利益があるということを伝える、現在のスキームを維持して欲しい、事業としての採算性、地域と連携

松本町長：まちづくりには欠かせないという位置づけ

坂本市長：旧坂井郡で三国が唯一賛成した、乗ってみたいとなる鉄道にしなければならない

見奈美社長：将来に残す社会的な責任、自立化、環境に寄与している責任がある、安心・満足して乗っていただけることを心掛けたい、今後も成長していきたい

山岸市長：みんなで支えていこう、乗りたい電車、使いたい電車、すぐ乗れる乗りやすい電車、LRVは欠かせない、公共が支える部分は必ず必要

川上教授：まちづくりの手段、社会資本としての外部効果を生み出すためには先行投資も必要、地域づくりの骨格として市町も機能を果たしうる

内田：以下のとおり

- ① 今後の新たな10年の活性化施策を検討するにあたっては、その先々を一定見通した施策でなければならない。
- ② 公共交通は継続的な住民サービスであり、それを維持向上させることが求められる。よって、単純なコスト論により質的なサービス低下を志向することがあってはならない。
- ③ 公共交通サービスは沿線地域だけの問題でなく、広く県民生活にも係る広範な問題であるという位置づけを明確にする。
- ④ えちぜん鉄道の活性化はえちぜん鉄道単体の改善・改良の議論では達成できない。他の移動手段との連携、ネットワークが必要であるというスタンスを明確にする。
つまり、乗る運動などの効果は一定認めるが牽引する組織の人的な踏ん張りで活性化が達成できても、それは継続性に問題が残る。しっかりとした活性化し続けるシステムの構築が求められる。
- ⑤ B/Cの検証にあたっては、単純な鉄道会社の採算という観点でなくあらゆる利用者を想定したベネフィット（社会的便益）の捉え方をしっかり示し、税金の用途の正当性を県民に分かりやすく説明をしなければならない。

★ 友ちゃんの金沢特派員報告 第5号★



作/漆寄 耕次

今回は、金沢市の「大野」という地域を取り上げたいと思います！

福井県にも大野市がありますが、金沢市の「大野」は醤油のまちとして有名な地域です。まちには醤油づくりを行っている工場が建ち並んでいて、醤油の香りがただよっています。建物と醤油の香りが来街者に大野独特のまちの雰囲気を感じさせます。

そんな大野のまちで、私は今回『直源醤油株式会社』さんの工場見学を体験してきました！

時間は 40～50 分程でしたが、醤油の歴史から実際の醤油のテイastingまでと凝縮された内容で十分に楽しむことができる内容です。

～具体的な工場見学の流れは以下のとおり～

【工場見学の流れ】

1. 大野醤油の歴史や特徴・製造工程についての説明を聞く
2. ボトリング工程の見学
3. 加工品工場の見学
4. 直江屋（町屋）見学
5. Soysauce&Café 直江屋源兵衛にて商品の紹介を聞き、醤油の味比べ
6. もろみ蔵の見学

最後のもろみ蔵の見学では、醤油のソフトクリーム（¥250）を食べました！「醤油のソフトクリームって絶対美味しくないと思う・・・。」と思って話しのネタに食べてみたんですが・・・以外や以外！キャラメルみたいな味がして美味しいんです。大野に行く機会があれば、是非召し上がってみてください。

醤油は、一般の家庭で日常的に使われている調味料です。身近にあるものだからこそ、見直してみる事が大切かもしれません。自分の目で製造工程を確認し、つくっている人の話を聞き、味を見て自分が納得したうえで購入する。結構贅沢な買い物だなと思いました。

直源醤油さんのHPから工場見学の詳細を見ることができます。興味のある方は、是非体験してみてください。

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「ホジロバ体験記、募集中です。待ってますよ！」

内田(発行責任者)

「9月の目玉はカーフリーデー。今年で4回目です。

のりマッパ発行とともに、ROBAの定例事業となっています。これからも継続しないとネ！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>